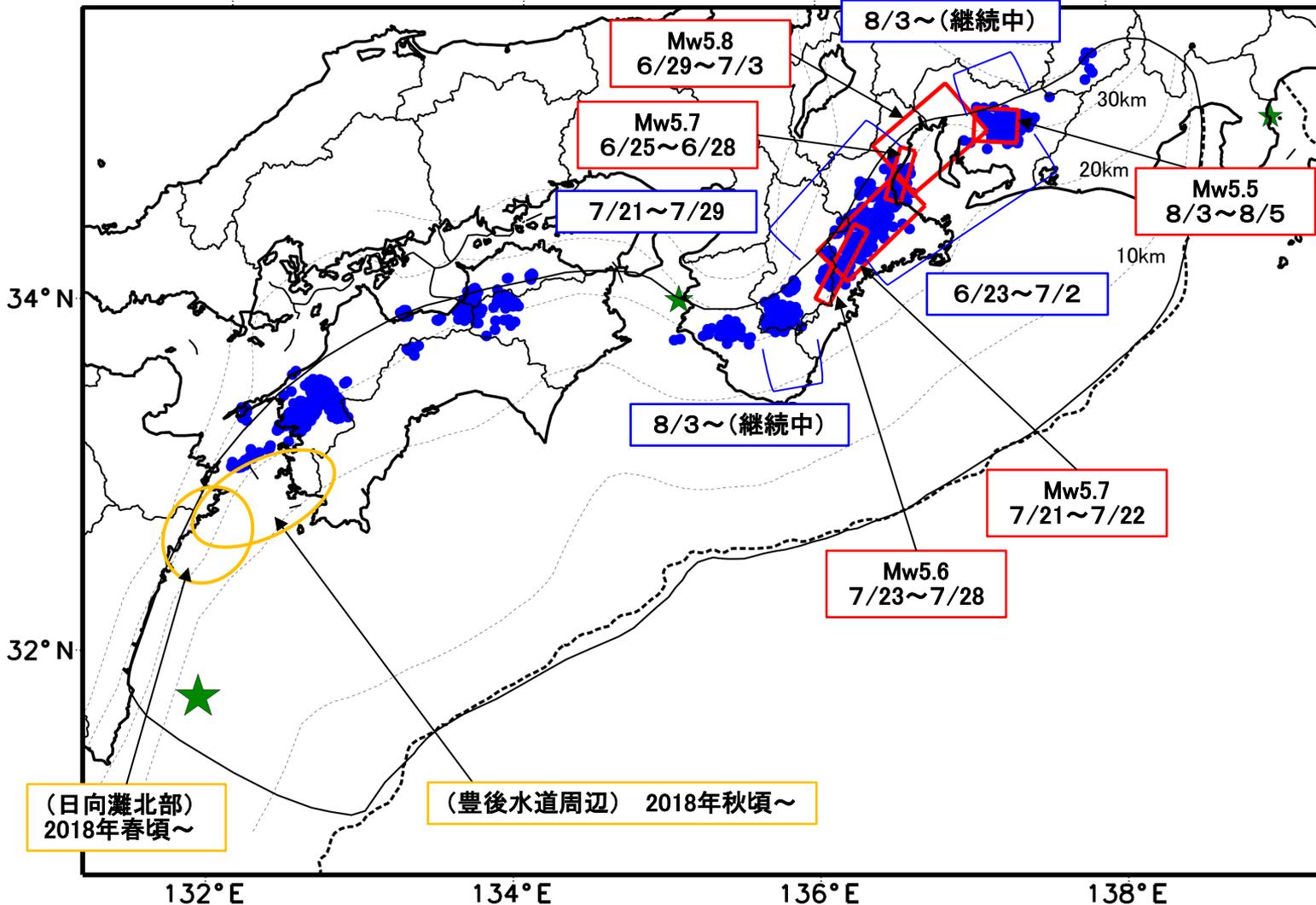


# 最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2019年7月1日～8月5日

100km



- 緑(★)  
通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)
- 青(●)  
深部低周波地震(微動)
- 赤(□)  
短期的ゆっくりすべり
- 黄(○)  
長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、Hirose et al.(2008), Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

(日向灘北部) 2018年春頃～

(豊後水道周辺) 2018年秋頃～

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。  
 深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)防災科学技術研究所及び気象庁の解析結果による。  
 短期的ゆっくりすべり.....【東海】産業技術総合研究所及び気象庁の解析結果による。【紀伊半島北部】産業技術総合研究所の解析結果による。  
 長期的ゆっくりすべり.....【日向灘北部】【豊後水道周辺】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

## 令和元年 7 月 1 日～令和元年 8 月 5 日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度 3 以上を観測した地震もしくは M3.5 以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
7/5	16:43	静岡県伊豆地方	5	3.3	3	フィリピン海プレートの地殻内
7/10	06:13	紀伊水道	12	3.7	2	陸のプレートの地殻内
7/27	02:11	日向灘	26	4.3	2	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

※太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
<b>■四国東部</b> 7月6日～13日 7月16日～18日 8月5日  <b>■四国中部</b> 7月1日 7月4日～5日 7月14日 7月28日 7月30日～8月1日  <b>■四国西部</b> 6月30日～7月2日 7月4日～5日 7月8日～9日 7月13日～15日 7月17日 7月19日～20日 7月25日～27日 7月30日 8月1日～（継続中）	<b>■紀伊半島北部</b> <u>6月23日～29日</u> ・・・(1) 7月4日 7月12日 <u>7月21日～27日<sup>注2)</sup></u> ・・・(2) 7月30日 8月3日  <b>■紀伊半島中部</b> 7月27日～29日 <u>8月3日～（継続中）</u> ・・・(4)  <b>■紀伊半島西部</b> 7月3日～5日 7月13日～14日 7月21日 7月28日～29日	<u>6月30日～7月1日<sup>注1)</sup></u> ・・・(1) 7月15日～17日 7月28日～29日 <u>8月3日～（継続中）</u> ・・・(3)

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数 2 日以上または活動日数 1 日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を赤字で示す。

※上の表中（1）～（4）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたもの。

注 1) 防災科学技術研究所による解析では、7 月 2 日頃まで継続。

注 2) 防災科学技術研究所による解析では、7 月 29 日頃まで継続。